



萌

も え る

spring, 2020

NISHI YOKOHAMA INTERNATIONAL HOSPITAL

健康管理センター

職種や性別、体調への心配事等、様々なニーズに対し、それぞれに適した人間ドック・がん検診のプランをご提供しています。

健康管理センターでは基本的な人間ドックを中心に、脳ドックやレディースドック、睡眠時無呼吸症候群、内臓脂肪、横浜市がん検診等、多様なメニューをご用意しており、それぞれのご要望に応じた健診プランのご提供が可能です。

また、院内各診療科や地域の医療機関と連携し、二次検査や精密検査、治療がスムーズに行える体制を整えております。



人間ドック

横浜市がん検診

脳ドック

レディースドック

睡眠時無呼吸症候群

内臓脂肪

その他

健康診断のご予約・お問合せ

TEL.045-861-8430 (直通)

月～金曜日 9:00～16:30 土曜日 9:00～12:00

病院理念 安心・安全の医療～患者さんと共に～

基本方針 良質な医療の提供・地域医療への幅広い貢献・生命と人権の尊重

病院ビジョン

1. 急性期から在宅まで、シームレスなサービスの提供により地域へ貢献する
2. 患者・利用者・家族に積極的に関与し、個別のニーズを追究する
3. やりがいと喜びを育み、全職員参加型の活気あふれる組織を構築する

病気の治療は、医療を受ける側と提供する側の共同作業です。西横浜国際総合病院では、「患者さんの権利と患者さんへのお願い」として、9項目を定めています。詳しくは、院内の掲示をご覧ください。

- 診療受付時間 平日・土曜とも 午前 8:30～11:30
平日のみ 午後12:00～16:30
- 診療開始時間 午前9:00～ 午後13:30～(平日のみ)
- 診療科目 内科(一般・腎臓・呼吸器・循環器)・外科(消化器科・乳腺甲状腺外科・耳鼻咽喉科・整形外科)
泌尿器科・神経内科・脳神経外科・精神神経科・麻酔科・リハビリテーション科



萌

2020年春号

発行

西横浜国際総合病院

INFORMATION

- ・ 病院長のご挨拶
- ・ 新任医師のご紹介
- ・ 入職式の報告
- ・ 健康管理センターのご案内

VOL.62

ご自由にお持ち帰りください。

TAKE FREE

安心・安全の医療 ～患者さんと共に～

病院長ご挨拶



西横浜国際総合病院 院長

三瓶 建二

2020年は医療界にとって試練の年となりました。猛威を振るう新型コロナウイルス感染症にいかに対応していくか、医療人ひとりひとりが冷静に考えなければならない事態に至っています。もちろん病院で扱う疾病は新型コロナウイルス感染症のみではありません。私たちは普段よりさまざまな疾病、ケガを扱っています。これらの方々に安心して治療を受けていただくために現在病院としてもさまざまな取り組みを行っています。

もとより医療の原点は目の前の病の人、けがをしている人に手を差し伸べることにあります。当院の理念として「良質な医療の提供」「地域医療への幅広い貢献」「生命と人権の尊重」とあります。おそらく病院の理念も、病棟や看護の理念もこの原点のうえに成り立ちます。私どもの病院では、医療人としての原点に立ち返り、それぞれが原点をもとに行動規範を考えていくことが必要と思います。

一方、現代の医療においては、眼前の病人をすべて自分の手で扱うという時代ではなくなりました。応急処置のみ行い適切な医療体制の整う施設に搬送する、あるいは適切な情報を提供して地域での医療体制を確立することが、地域包括ケアの一端を担う病院として求められるものです。

当院は開設より30年を経過し、時代の変遷とともに急性期医療単独の機能より、予防医療として健診センター、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟そして在宅医療を展開してきました。高度急性期医療を行う病院とは関係性を深め、地域医療がより円滑な流れを維持することが当院のもう一つの役割と考えています。

さらに急激に進行する高齢化、多死社会を迎え、私たち自身もいかに終末期の医療に関わっていくかとの問題に直面しています。もちろん終末期の状態とは悪性腫瘍の終末期のみではなく、フレイルなどを含めた単独での生活が非常に困難な状態をも含みます。これらの方々にいかに有意義な終末期の医療などを提供していくか、医療を提供される方々にいかに満足していただけるかは、在宅医療などをとおして深く考えていかなければなりません。

医療の役割も時代とともに変遷しています。わたしたちは常に状況を見極め、時代の要請にこたえられるべく病院の体制を整えてゆく努力を続けていくことが必要であると2020年度を迎えるにあたっての決意として述べさせていただきます。

新任医師のご紹介

循環器内科 小泉 雅之 医師

4月から赴任致しました小泉雅之です。専門は循環器内科です。循環器疾患の多くは高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病をベースとして発症します。そのため、致命的あるいは重症な病態になり得る前の加療はととても大切です。自身は、循環器内科はもちろん一般内科や救命救急センター、大学院などの経験を経て、総合的な医療が重要であると考え、外来診療～入院加療（急性期・回復期）が可能な当院で従事したく思いました。患者さんにとって最適な医療を提供できるよう、患者さんの立場に立ったきめ細かい診療を提供致します。よろしくお願い致します。

耳鼻咽喉科 鈴木 一宏 医師

2020年4月より耳鼻咽喉科で勤務させていただいております鈴木一宏と申します。西横浜国際総合病院では突発性難聴の入院患者数が他院を圧倒しており、全国から多くの患者様が当院の評判を聞いて来院されることに驚いております。突発性難聴はもちろん、耳鼻咽喉科の疾患でお困りの患者様により良い医療を提供できるように頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

耳鼻咽喉科 島田 翔子 医師

本年4月から耳鼻咽喉科に赴任しました島田翔子と申します。3月まで神奈川県立こども医療センターに勤務していたため、成人の診療は久しぶりで新鮮であると同時に身の引き締まる思いです。微力ではありますが、少しでも皆様のお役に立てるよう丁寧な診療を心がけていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

入職式の報告（採用担当）

2020年度は、新卒者28名【看護師12名・介護福祉士1名・理学療法士9名・作業療法士2名・言語聴覚士2名・薬剤師1名・診療放射線技師1名】中途者14名【医師3名・看護師6名・理学療法士1名・作業療法士1名・言語聴覚士1名・事務員1名・施設保守管理担当1名】計42名のスタッフが入職しました。

毎年行われているセコム提携病院 神奈川ブロックの合同入職式が中止となったため、4月1日に当院だけの入職式を行いました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、困難な状況が続く中で北海道から沖縄まで様々な地域からの内定者が誰一人欠けることなく、無事に入職してくれた事が採用担当者として何よりも嬉しく、1年の頑張りが報われた瞬間でした。

これから当院で業務経験を重ね、地域医療へ幅広く貢献し、患者さんにとって良い医療を提供できる医療人になる事を願うばかりです。

